

NIRECO
Trusted Partner

株式会社ニレコ

2023年3月期 決算説明資料

(証券コード：6863)
2023年5月18日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

業績推移

22/3期

23/3期

24/3期計画

実績及び計画

受注高 9,579百万円
(前期比+29%)

受注高 10,307百万円
(前期比+8%)

受注高 10,500百万円
(前期比+2%)

売上高 8,117百万円
(前期比+3%)

売上高 9,155百万円
(前期比+13%)

売上高 10,000百万円
(前期比+9%)

営業利益 563百万円
(前期比▲6%)

営業利益 1,182百万円
(前期比+110%)

営業利益 1,190百万円
(前期比+1%)

重点テーマ

- ◆ 市場の拡大
- ◆ 技術の進化
- ◆ 株主還元

いかなる環境下においても成長できる企業グループの実現

事業基盤の拡大強化

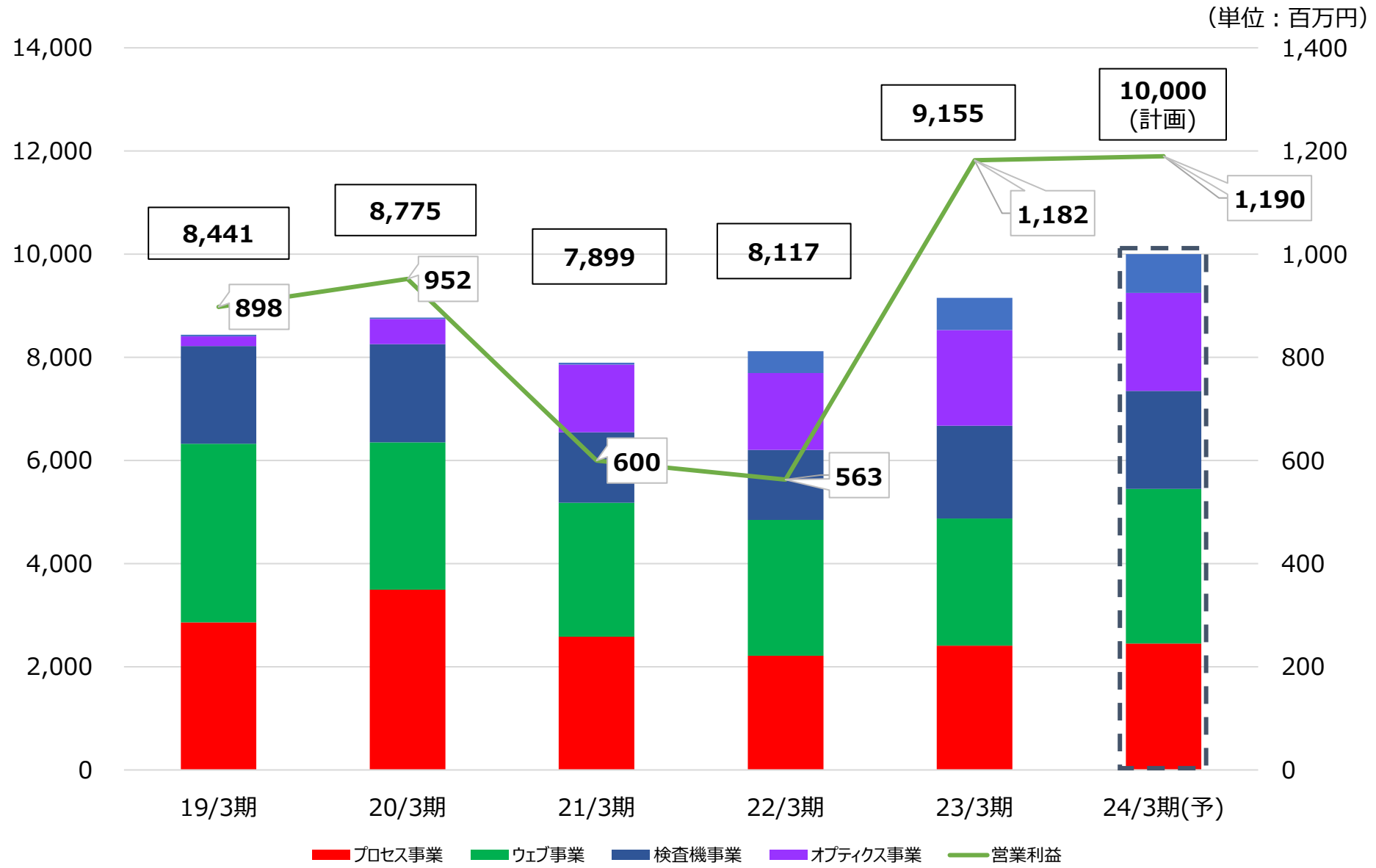
競争優位性の向上

23/3期の取組み

- オプティクス事業の強化
- 代替部材採用・調達ルート開拓等による調達適正化
- 新製品の販売開始

連結配当性向 40%以上かつ連結自己資本配当率 (DOE) 2%以上を目標

業績推移 (売上高・営業利益)



1. 前期実績
2. 今期計画
3. 持続的成長に向けて

1. 前期実績 (2022/4 – 2023/3)

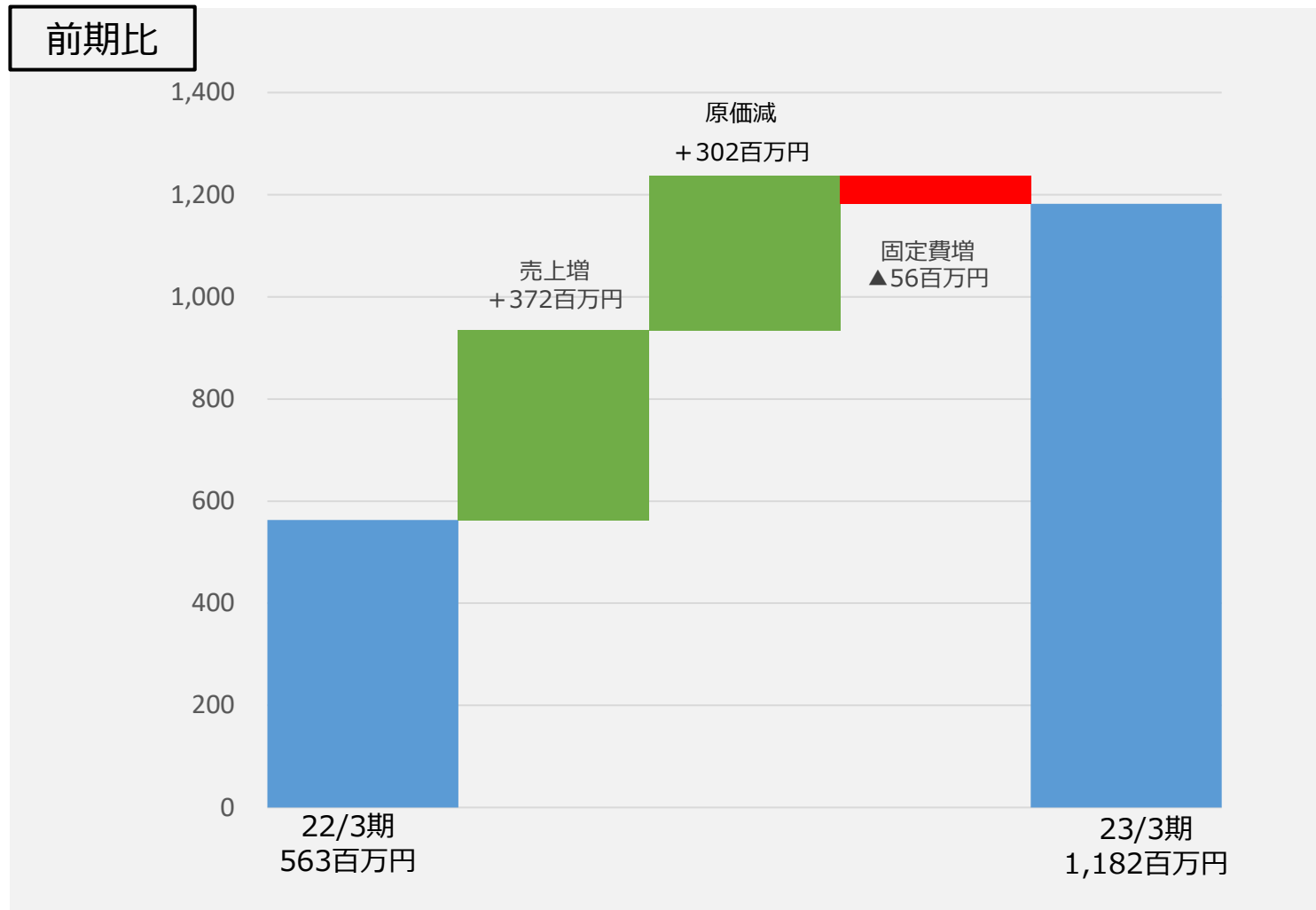
連結実績

- 部材の供給制約改善により、受注高・売上高は計画に近い形で推移
- 収益性の高い製品販売が多かったことやコスト削減により、利益大幅増

(単位：百万円)

	22/3期	23/3期		増減率	
	実績	期初計画	実績	前期比	計画比
受注高	9,579	10,000	10,307	+8%	+3%
売上高	8,117	9,200	9,155	+13%	▲0%
営業利益	563	800	1,182	+110%	+48%
営業利益率	6.9%	8.7%	12.9%	-	-
経常利益	650	860	1,255	+93%	+46%
経常利益率	8.0%	9.3%	13.7%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	406	600	860	+112%	+43%
当期純利益率	5.0%	6.5%	9.4%	-	-
1株当たり当期純利益(円)	55.41	81.86	117.4	+112%	+43%
受注残高	4,376	5,176	5,529	+26%	+7%

営業利益増減要因



※固定費 = 販売費及び一般管理費

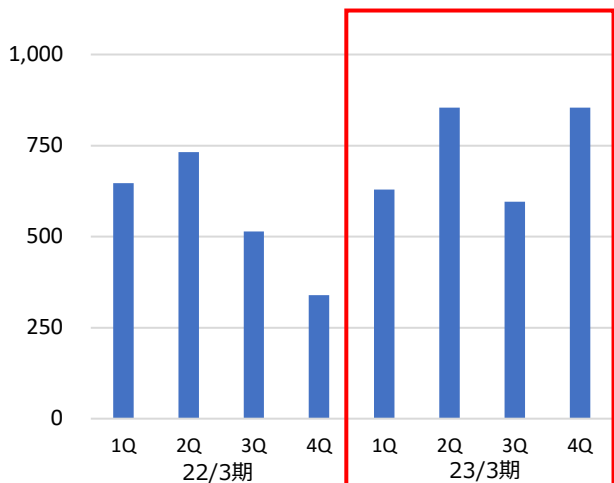
プロセス事業

- 海外販売への注力により売上高、受注高ともに前年比増
- 鉄鋼業界の高品位化需要や収益性の高い製品販売が多かったことで、利益率回復 (単位：百万円)

	22/3期	23/3期		増減率	
	実績	当初計画	実績	前期比	計画比
受注高	2,232	2,500	2,934	+31%	+17%
売上高	2,216	2,500	2,411	+9%	▲4%
セグメント利益	313	340	460	+47%	+35%
セグメント利益率	14.1%	13.6%	19.1%	-	-
受注残高	1,188	1,188	1,710	+44%	+44%

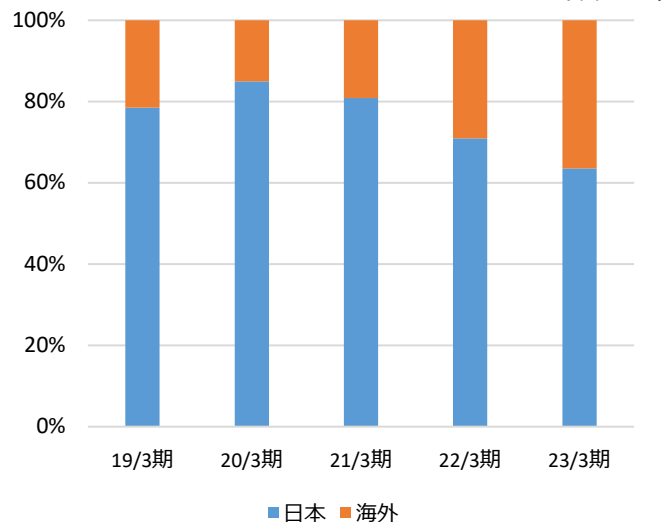
受注高推移

(単位：百万円)

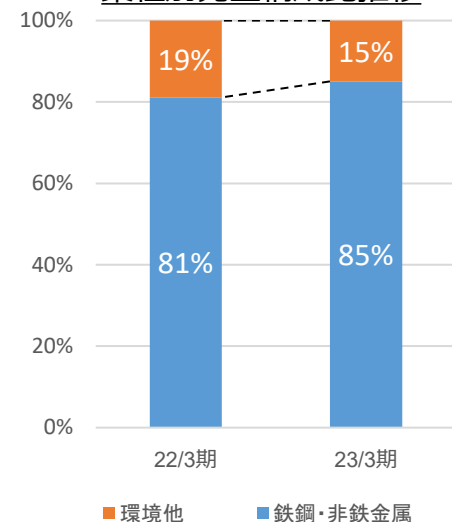


国内外売上比率推移

(単位：%)



業種別売上構成比推移



ウェブ事業

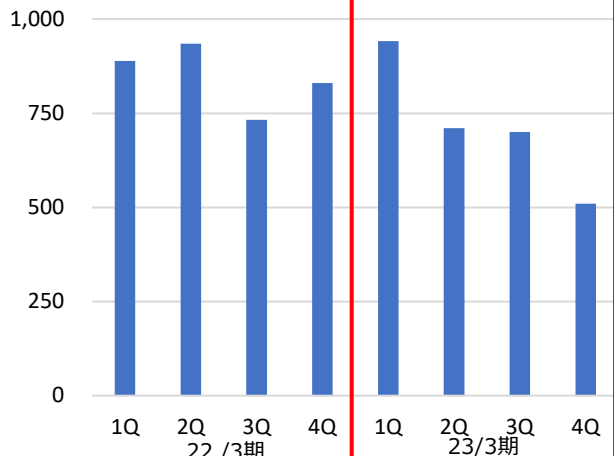
- 二次電池業界向けの需要は調整局面入りし、売上高、受注高ともに対前年比減少
- 利益については、収益改善努力により増加

(単位：百万円)

	22/3期 実績	23/3期		増減率	
		当初計画	実績	前期比	計画比
受注高	3,387	3,500	2,862	▲16%	▲18%
売上高	2,631	2,900	2,465	▲6%	▲15%
セグメント利益	230	340	248	+8%	▲27%
セグメント利益率	8.8%	11.7%	10.1%	-	-
受注残高	1,336	1,936	1,540	+15%	▲20%

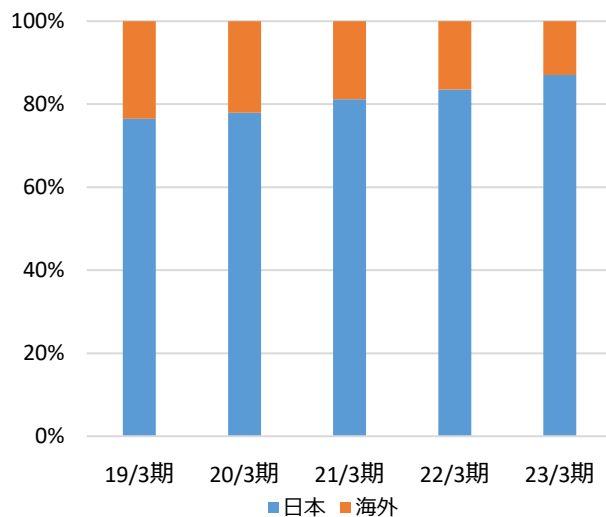
受注高推移

(単位：百万円)

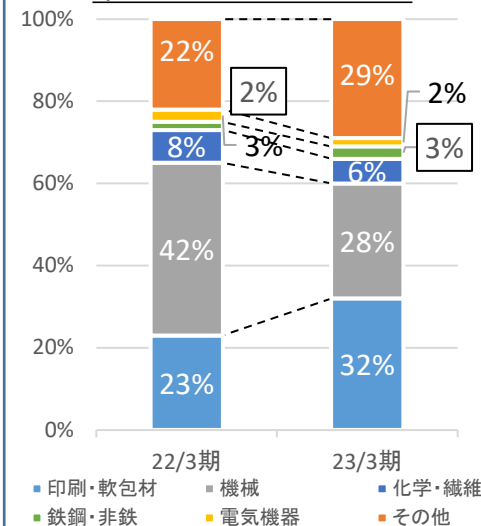


国内外売上比率推移

(単位：%)



業種別売上構成比推移



検査機事業

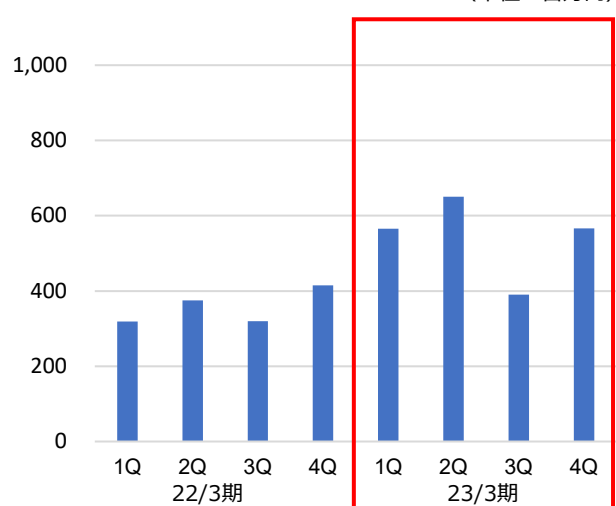
- 海外での無地検査装置の受注・販売好調。国内食品検査装置増収もあり、売上高大幅増
- 売上高の増加に伴い、利益大幅改善

(単位：百万円)

	22/3期 実績	23/3期		増減率	
		当初計画	実績	前期比	計画比
受注高	1,429	1,800	2,172	+52%	+21%
売上高	1,356	1,650	1,797	+33%	+9%
セグメント利益	35	170	200	+471%	+18%
セグメント利益率	2.6%	10.3%	11.2%	-	-
受注残高	684	834	1,252	+83%	+50%

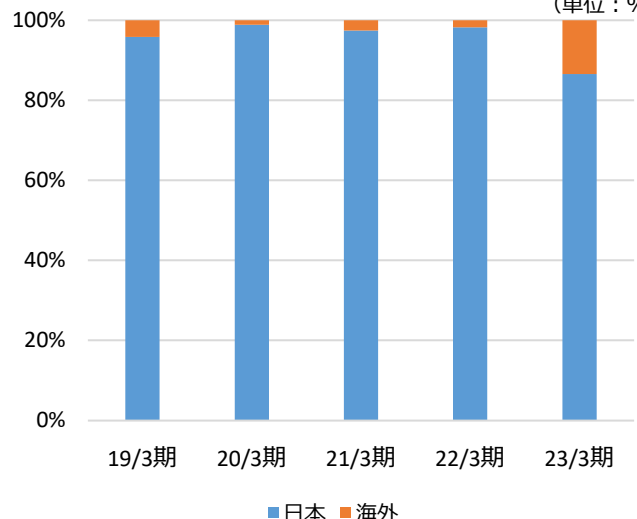
受注高推移

(単位：百万円)

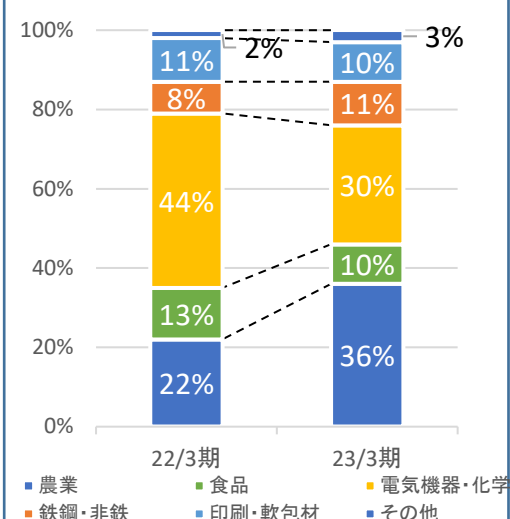


国内外売上比率推移

(単位：%)



業種別売上構成比推移



オプティクス事業

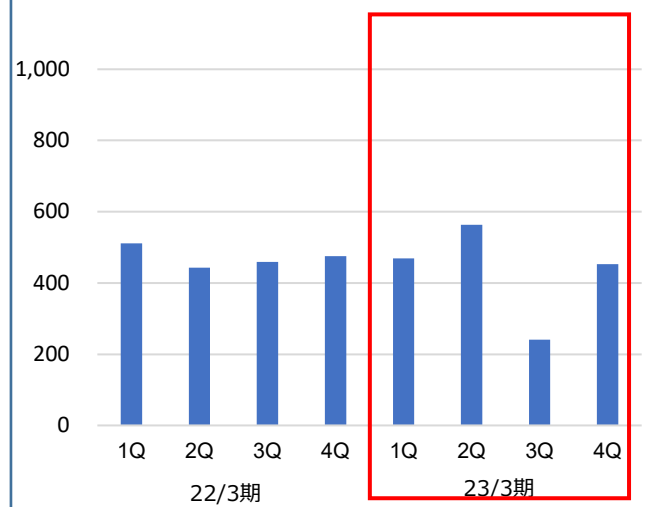
- 海外向け出荷増。光学部品の生産能力投資も寄与し、売上高前期比増
- 半導体業界の調整局面入りなどの影響により、受注高は前期比で減少

(単位：百万円)

	22/3期	23/3期		増減率	
	実績	当初計画	実績	前期比	計画比
受注高	1,888	1,700	1,725	▲9%	+1%
売上高	1,489	1,650	1,855	+25%	+12%
セグメント利益	401	400	740	+85%	+85%
セグメント利益率	26.9%	24.2%	39.9%	-	-
受注残高	944	994	814	▲15%	▲18%

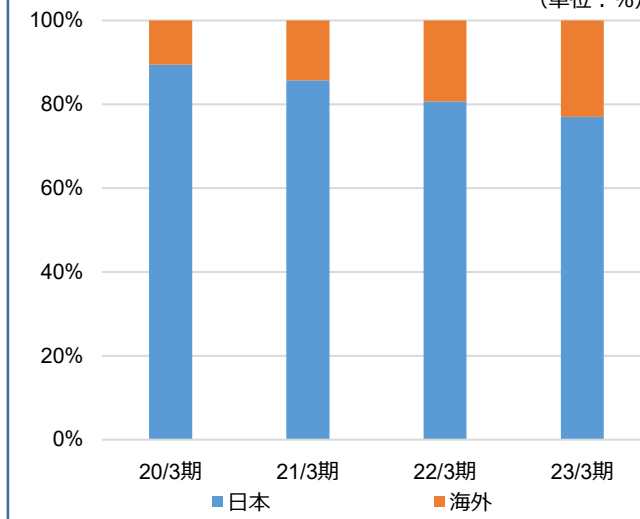
受注高推移

(単位：百万円)

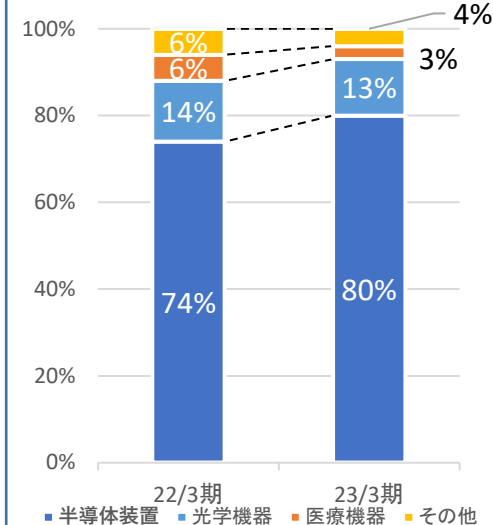


国内外売上比率推移

(単位：%)



業種別売上構成比推移



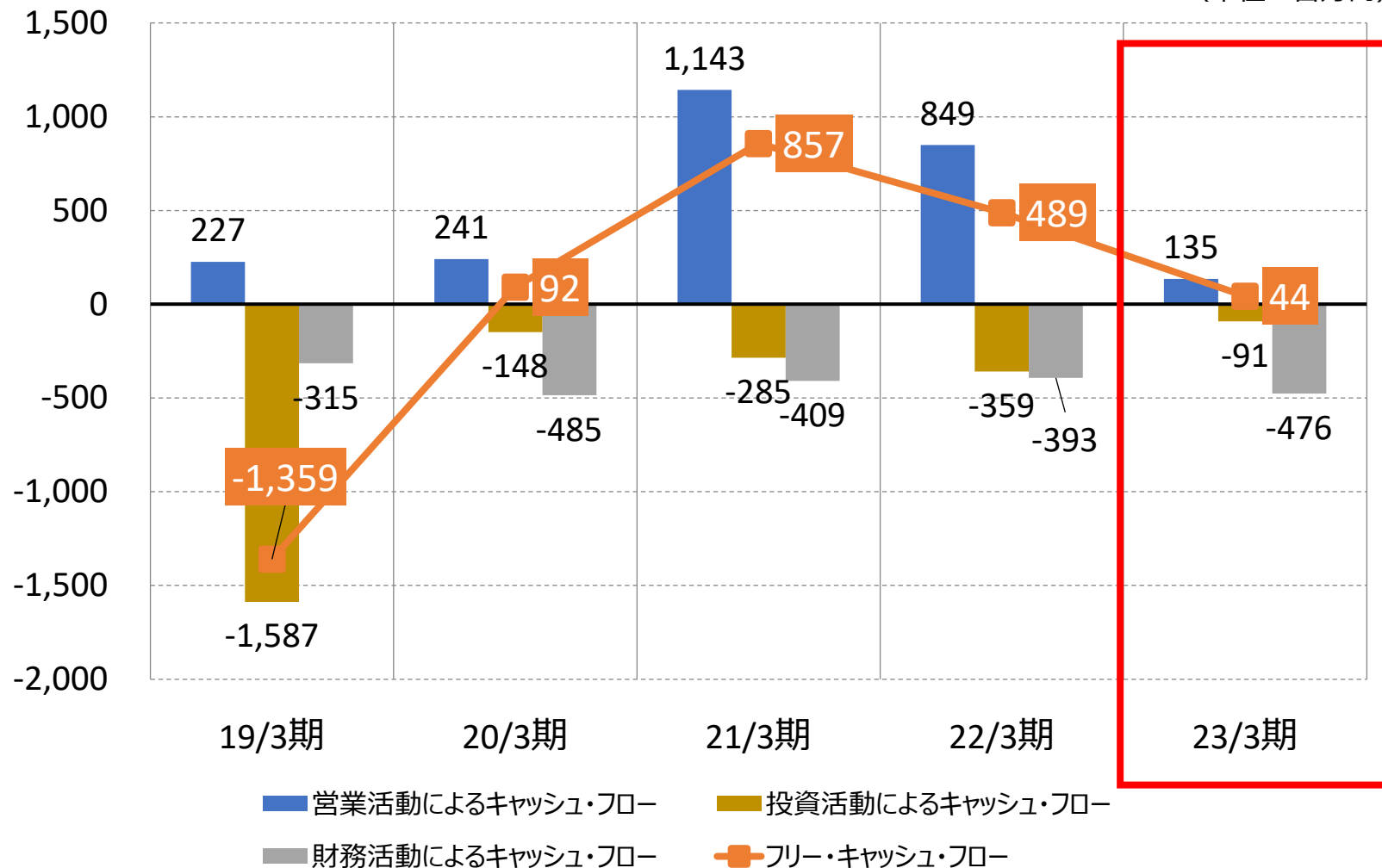
貸借対照表

(単位：百万円)

	22/3期		23/3期		前期末比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
現金・預金	4,834	29.9%	4,381	25.8%	▲ 452
売上債権	3,415	21.1%	4,025	23.7%	+ 609
棚卸資産	2,507	15.5%	3,062	18.0%	+ 554
その他流動資産	136	0.8%	150	0.9%	+ 15
流動資産	10,894	67.4%	11,619	68.3%	+ 725
有形固定資産	3,304	20.5%	3,255	19.1%	▲ 48
無形固定資産	258	1.6%	241	1.4%	▲ 17
投資その他資産	1,695	10.5%	1,885	11.1%	+ 190
固定資産	5,258	32.6%	5,382	31.7%	+ 123
資産合計	16,152	100.0%	17,002	100.0%	+ 849
買入債務	610	3.8%	449	2.6%	▲ 162
その他流動負債	1,157	7.2%	1,390	8.2%	+ 232
流動負債	1,768	10.9%	1,840	10.8%	+ 71
固定負債	533	3.3%	557	3.3%	+ 24
負債合計	2,301	14.2%	2,397	14.1%	+ 95
純資産合計	13,850	85.8%	14,605	85.9%	+ 754
負債・純資産合計	16,152	100.0%	17,002	100.0%	+ 849

キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



23/3期概況

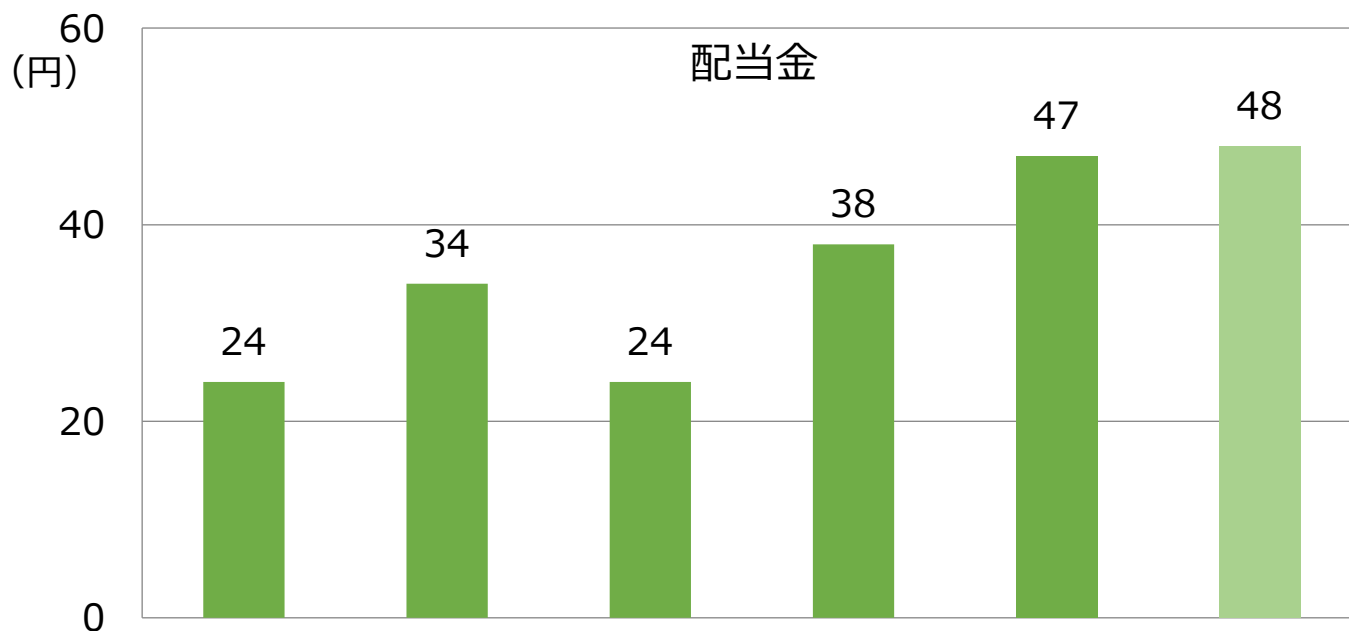
営業活動によるキャッシュ・フロー：税金等調整前当期純利益（1,249百万円）、売上債権及び契約資産の増加（-606百万円）、棚卸資産の増加（-542百万円）

株主還元について

＜基本方針＞

連結配当性向 40%以上かつ
連結自己資本配当率（DOE）2%以上を目標

2023年3月期は株式公開後最高配当額を更新



	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期 (予)
1株当たり当期純利益(円)	66.07	106.58	59.06	55.41	117.40	118.70
配当金(円)	24	34	24	38	47	48
配当性向(%)	36.3	31.9	40.6	68.6	40.0	40.4
DOE	1.4%	2.0%	1.3%	2.0%	2.4%	2.4%

2. 今期計画 (2023/4 – 2024/3)

今期計画

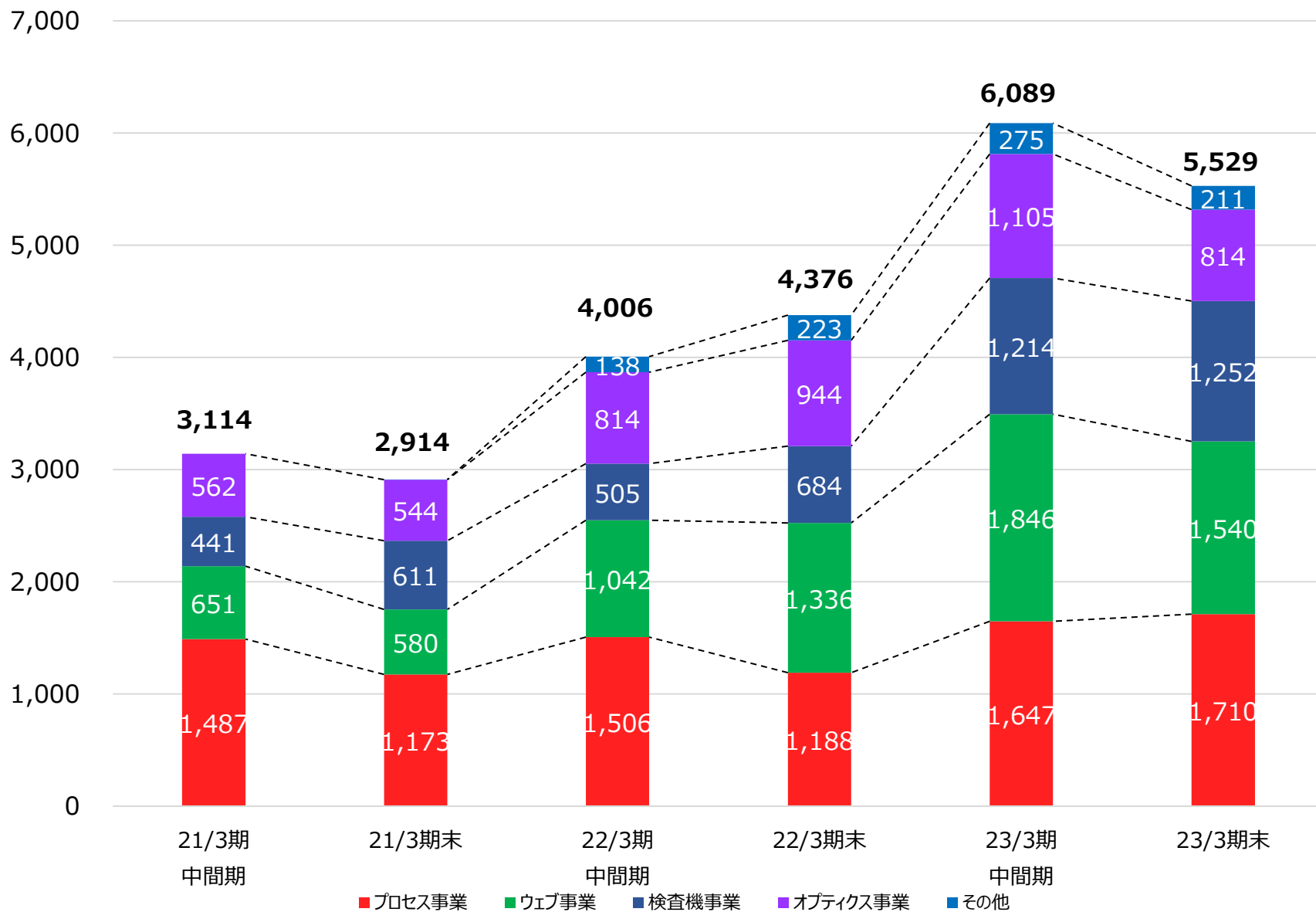
- 高水準の受注残高を背景に、売上高増を見込む
- 半導体業界の調整局面入りを背景に、利益は前期並み

(単位：百万円)

	23/3期 実績	24/3期 計画	増減率 実績比
受注高	10,307	10,500	+2%
売上高	9,155	10,000	+9%
営業利益	1,182	1,190	+1%
営業利益率(%)	12.9%	11.9%	-
経常利益	1,255	1,260	+0%
経常利益率(%)	13.7%	12.6%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	860	870	+1%
当期純利益率(%)	9.4%	8.7%	-
1株当たり当期純利益(円)	117.4	118.7	+1%
受注残高	5,529	6,029	+9%

受注残高状況推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：プロセス事業

国内鉄鋼市場

- 鉄鋼メーカーは電気自動車用高品位鋼生産に注力
- ↓
- 高品位鋼向け設備投資や非鉄金属メーカーへの販売活動に注力
 - 元素分析装置なども絡めた部門横断的な販売活動

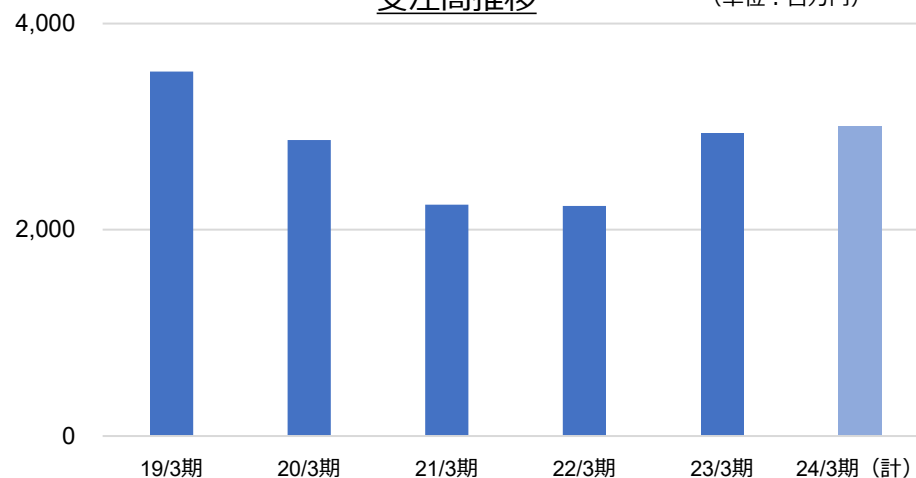
海外鉄鋼市場

- インフレ及び高金利により鉄鋼需要の回復は限定的
 - 中国におけるゼロコロナ政策終了による販売活動の制約解除
- ↓
- 海外販売体制の強化および海外子会社での生産・サービス強化継続

	23/3期 実績	24/3期 計画
受注高	2,934	3,000
売上高	2,411	2,450
セグメント利益	460	360
セグメント利益率	19.1%	14.7%

受注高推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：ウェブ事業

電子部品・高機能フィルム市場

- 二次電池向け設備投資は旺盛な需要が一段落し安定成長へ



- 二次電池向け設備投資需要引き続き取り込み
- コストダウン等による利益率改善

紙・印刷・軟包材市場

- サステナビリティ向上目的に包装材効率利用注目

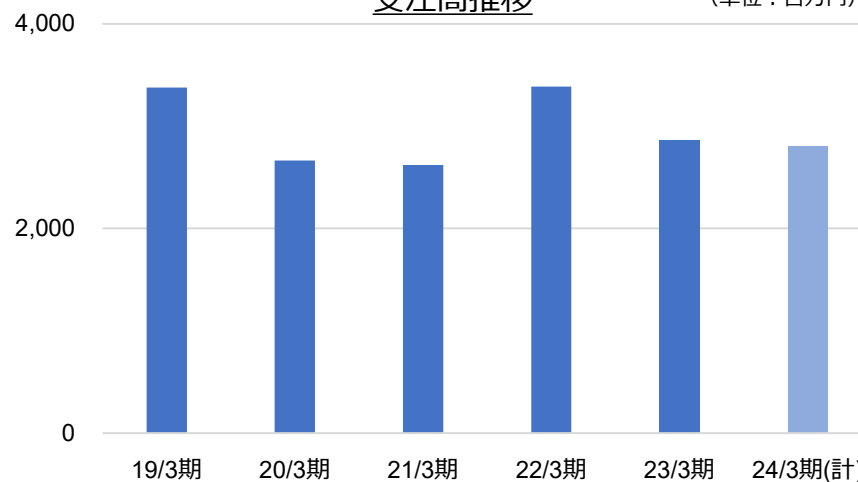


- ウェブ制御による包装材節減など環境を意識した設備投資に向けた販売活動
- 業務提携先であるE+L社製品の販売活動注力

	23/3期 実績	24/3期 計画
受注高	2,862	2,800
売上高	2,465	3,000
セグメント利益	248	380
セグメント利益率	10.1%	12.7%

受注高推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：検査機事業

電子部品・高機能フィルム市場

- 各メーカーの検査設備投資需要堅調
- 二次電池用途や金属箔、フィルム等ニーズ多様化



- 新製品開発により高度化する検査ニーズへの対応
- Web含めPR方法を多様化

食品市場

- 農業分野向け検査装置需要は底堅い
- 各種加工食品向けでの機械検査需要拡大

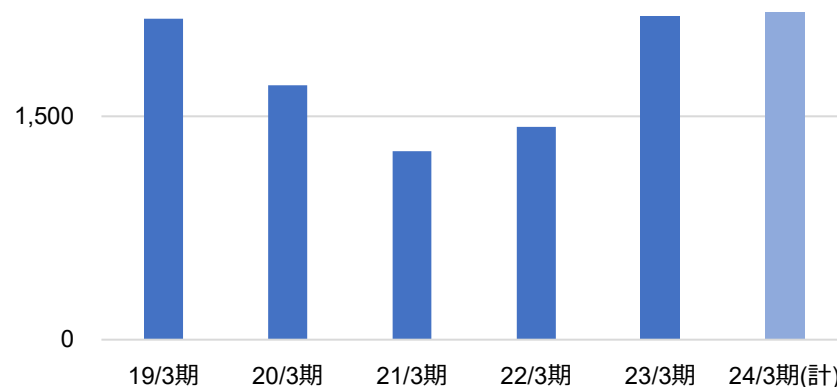


- 加工食品検査ニーズ多様化への対応強化

	23/3期 実績	24/3期 計画
受注高	2,172	2,200
売上高	1,797	1,900
セグメント利益	200	240
セグメント利益率	11.2%	12.6%

受注高推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：オプティクス事業

光学部品市場

- 半導体検査装置需要は調整局面入り
- 光学部品は海外含め幅広い需要あり



- 半導体分野の他、医療、研究開発分野などでの光学部品需要の着実な取り込み
- 設計・加工技術の強みを活かした新規用途開拓

レーザー関連製品等

- 半導体検査や医療用途向けニーズ強い

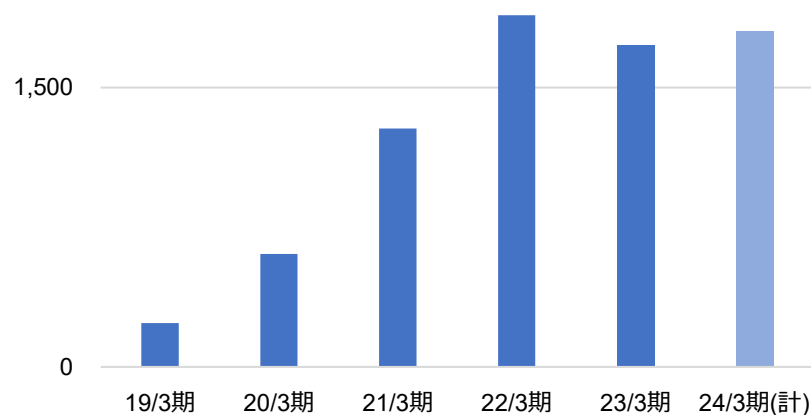


- 半導体検査や医療診断分野向けに加え、製品特徴を活かした新規用途開発

	23/3期 実績	24/3期 計画
受注高	1,725	1,800
売上高	1,855	1,900
セグメント利益	740	660
セグメント利益率	39.9%	34.7%

受注高推移

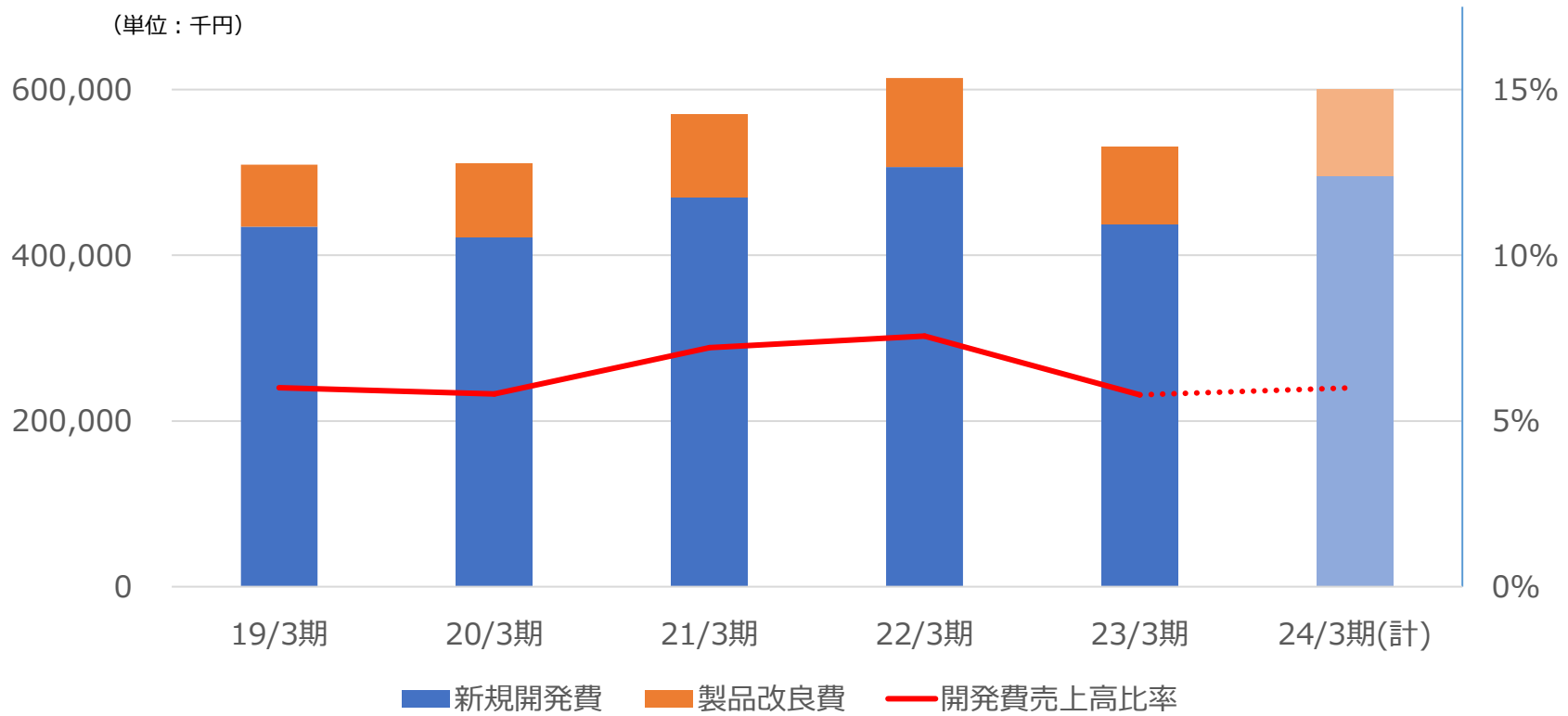
(単位：百万円)



R&D

➤ 強みを持つ技術を活用し、新たな収益源の創出に向け、開発案件への取組みを加速

- 主な開発テーマ
- 次世代画像検査装置の開発
 - レーザー技術による製品開発
 - 光応用検査・計測装置の開発



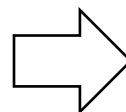
3. 持続的成長に向けて

持続的成長に向けた重点テーマ

いかなる環境下においても成長できる企業グループの実現

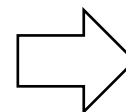
市場の拡大

- 海外展開の推進強化
- 検査機事業の強化・オプティクス事業の強化
- 新製品開発による新事業分野の開拓

**事業基盤の拡大強化**

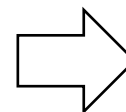
技術の進化

- 画像解析技術の高機能化による製品展開
- 光応用技術による製品開発

**競争優位性の向上**

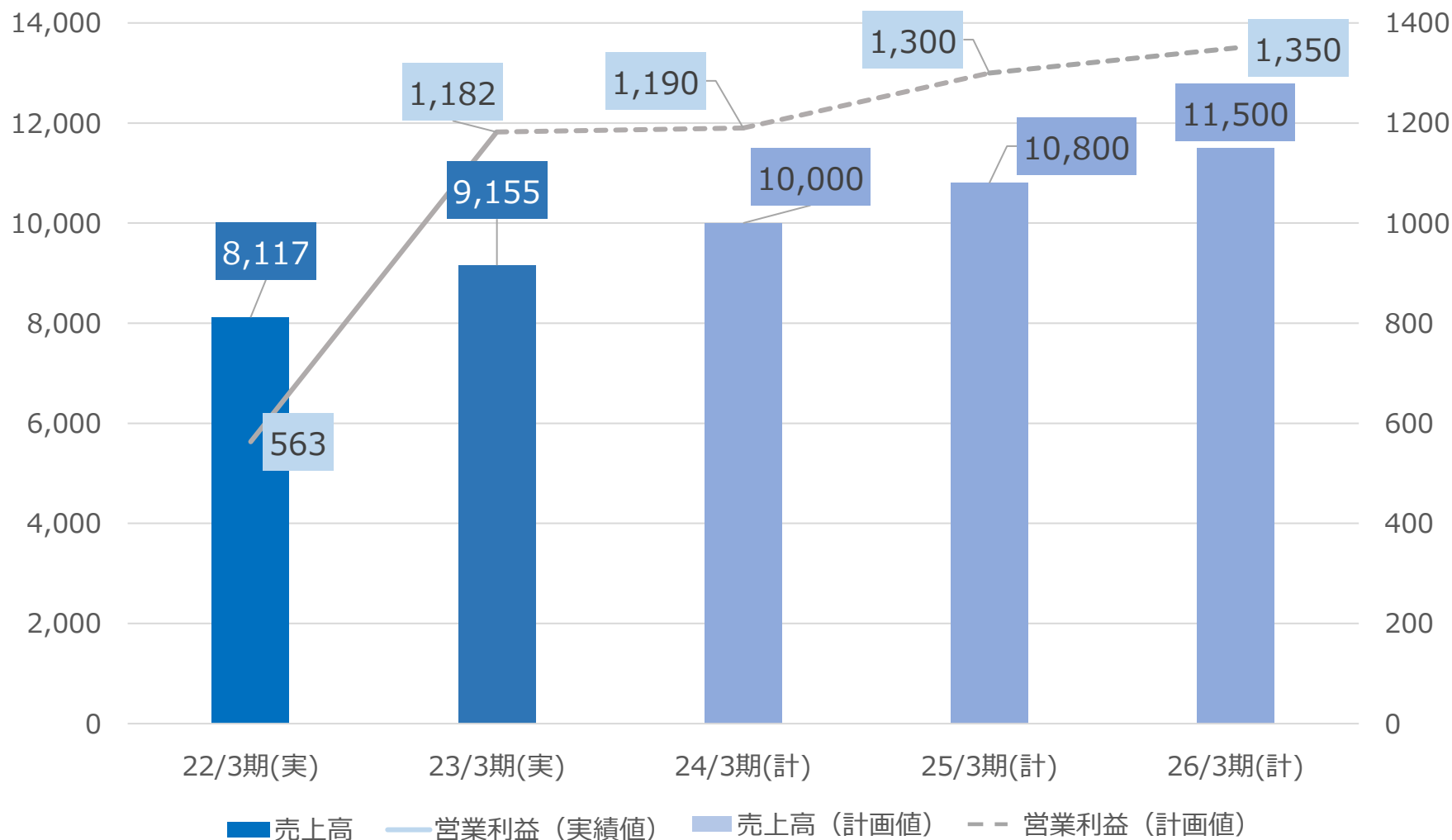
経営体質の強化

- 既存事業の収益改善
- グループ・外部との連携強化によるシナジー最大化
- 競争力強化のための人的投資、並びにインフラ投資

**経営基盤の強化**

中期目標

(単位：百万円)

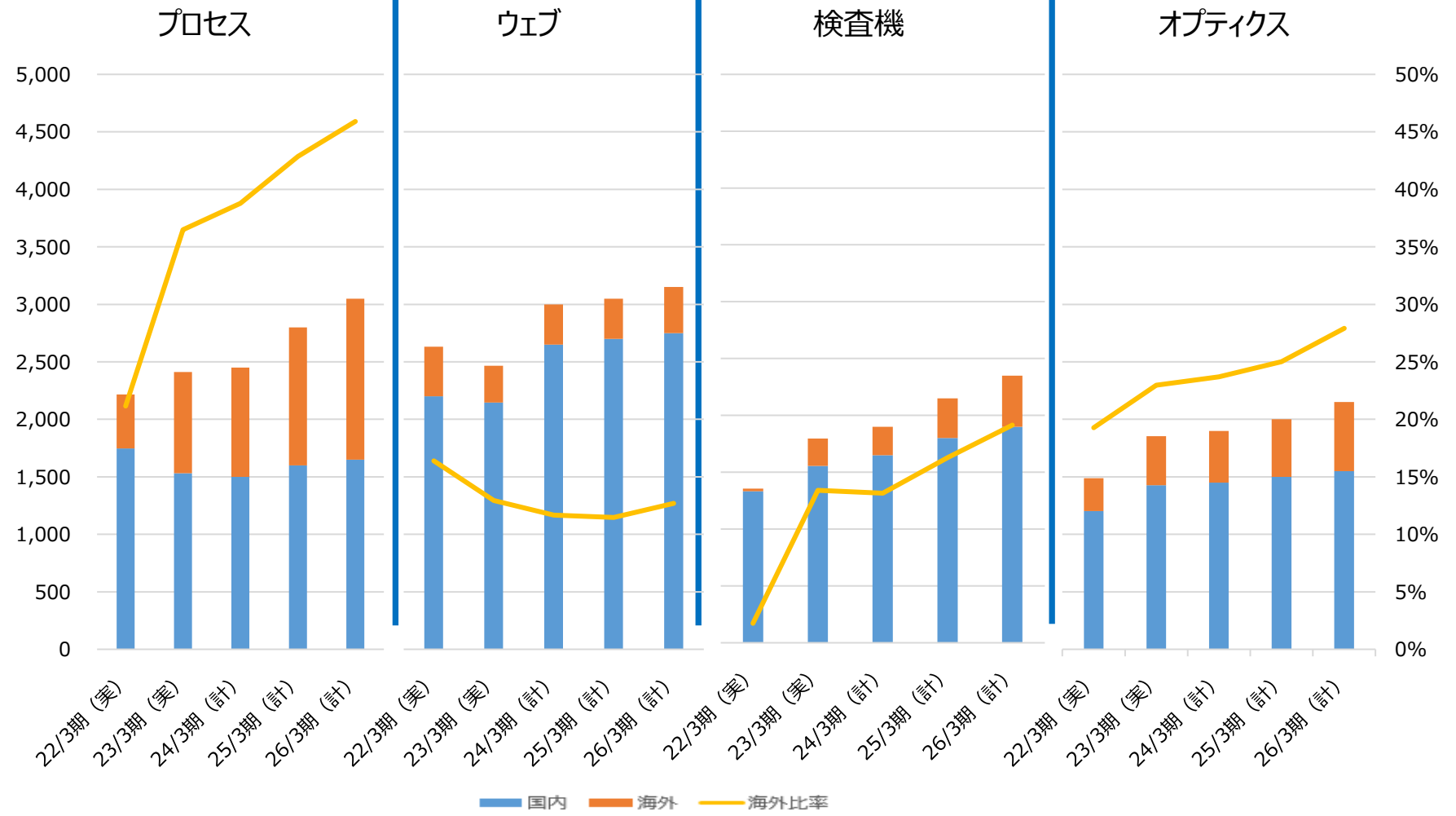


中期目標

(セグメント別国内外売上)

売上高 (百万円)

海外比率



参考資料

会社概要

会社名	株式会社ニレコ
代表取締役社長	久保田 寿治
本社所在地	東京都八王子市石川町2951-4
設立	1950（昭和25）年11月
上場市場	東京証券取引所スタンダード
資本金	3,072百万円*
連結従業員数	449名*
連結売上高	9,511百万円*

* 2023年3月期連結

沿革

- 1950年 : 東京都中央区に日本レギュレーター株式会社を設立
- 1979年 : 東京都八王子市に本店を移転
- 1984年 : 商号を「株式会社ニレコ」に変更
- 1989年 : 日本証券業協会に株式を店頭公開
- 1990年 : ミスミ電子株式会社（現ミヨタ精密株式会社）を子会社化
- 1998年 : 仁力克股份有限公司を子会社化（台湾）
- 2003年 : 尼利可自動制御機器（上海）有限公司を設立（中国）
- 2004年 : JASDAQ証券取引所に上場
- 2013年 : 東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）上場に移行
- 2014年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.を設立（韓国）
- 2018年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.が土地・建物取得し生産体制整備
- 2019年 : 株式会社光学技研を子会社化
- 2021年 : 西武電機株式会社を子会社化
- 2022年 : 東京証券取引所の市場再編に伴い、スタンダード市場へ移行

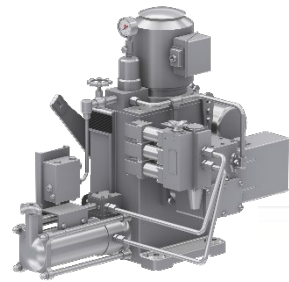
経営理念

「技術と信頼」

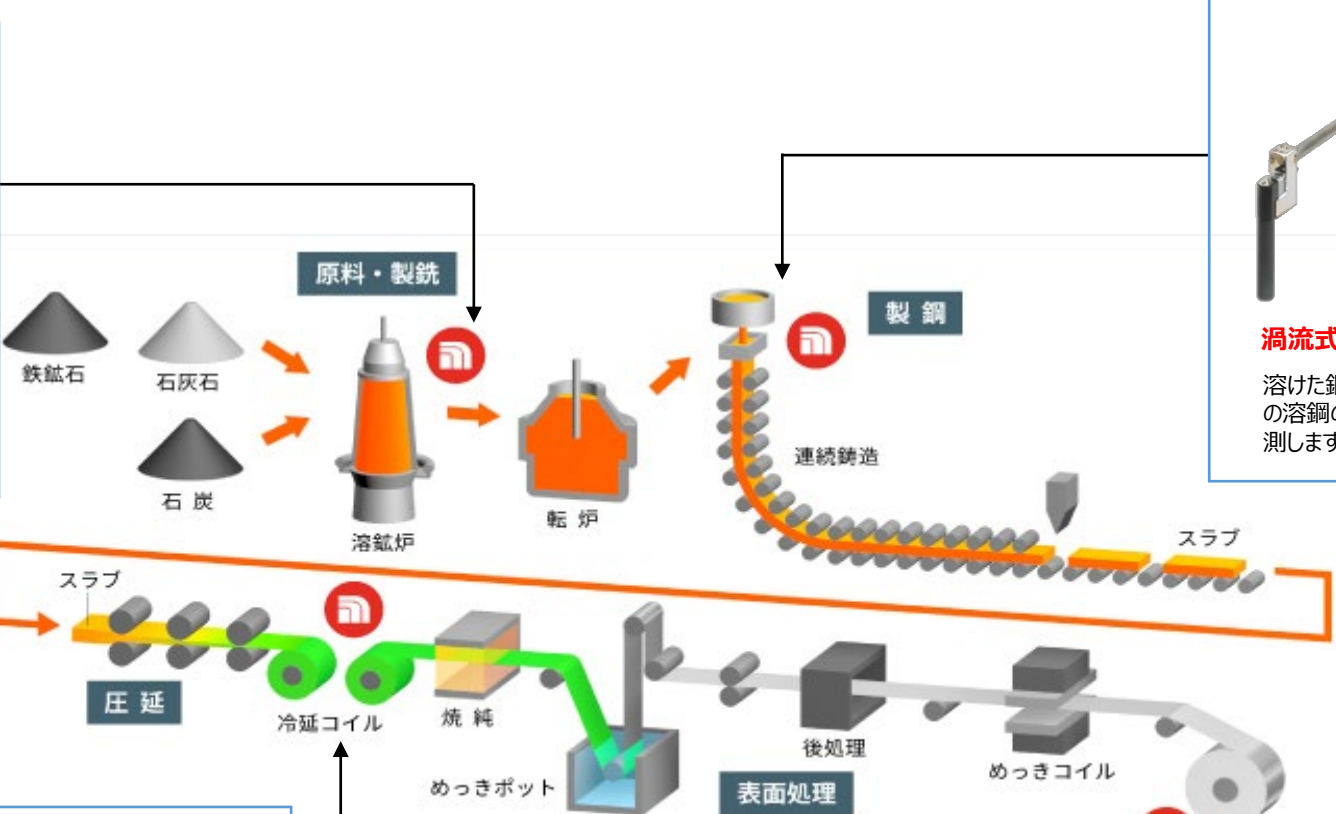
われわれは、制御、計測、検査の技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、お客様から厚い信頼を獲得し、良きパートナーとして共に成長します。さらに、パートナーシップにより生み出した価値を広く社会に応用することで、豊かで持続可能な社会の実現に貢献していきます。

プロセス事業

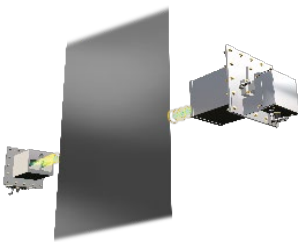
鉄鋼をはじめ、金属、ガス、化学工業等あらゆる工業における自動制御装置を扱う事業です。



プロセス制御装置
溶鉱炉内の圧力、流量、温度等の制御を行っています。



渦流式溶鋼レベル計
溶けた鋼を型に流し込む際の溶鋼の表面の位置を計測します。



耳端位置制御装置
製造ラインを流れるスラブ（鋼材）の蛇行制御を行っています。



自動識別印字装置
できあがった金属素材に様々な情報を印字しています。

ウェブ事業

主に紙・フィルム・箔等薄いシート状素材（=ウェブ）の位置制御装置等を扱う事業です。



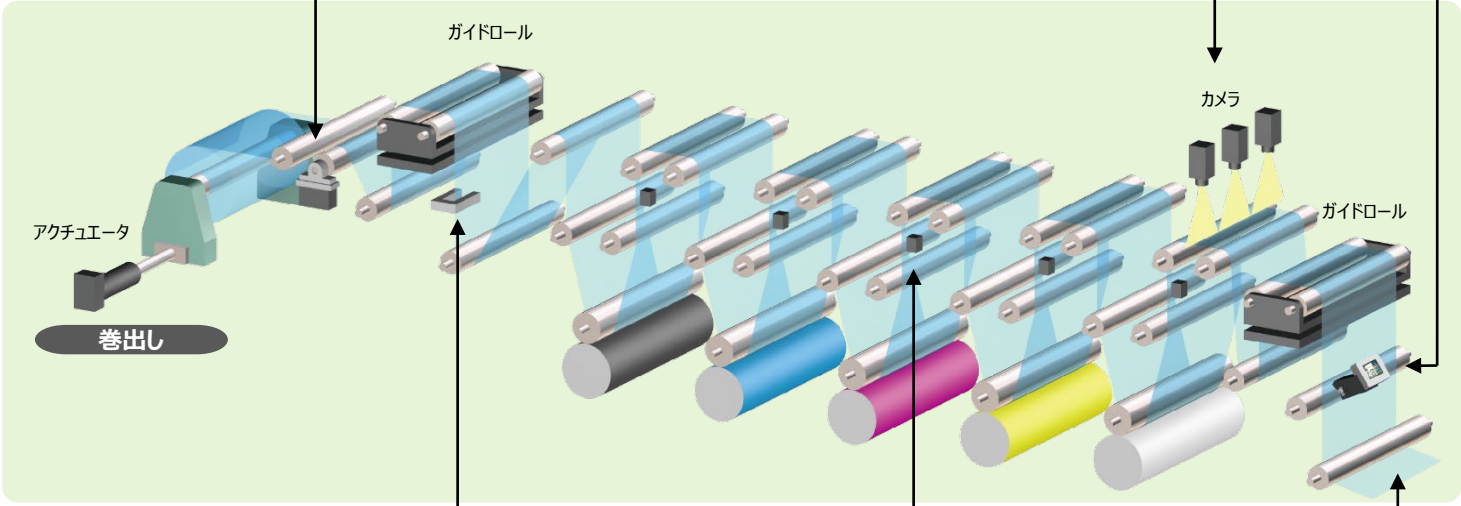
張力制御装置
ウェブの張力を一定に保ちしわ・たるみの発生を防ぎます。



印刷品質検査装置
印刷ラインの欠点を検出します。



**耳端位置制御装置
（絵柄基準）**
ウェブの規定位置を保ち蛇行を防ぎます。




**耳端位置制御装置
（エッジ・センター基準）**
ウェブの規定位置を保ち蛇行を防ぎます。



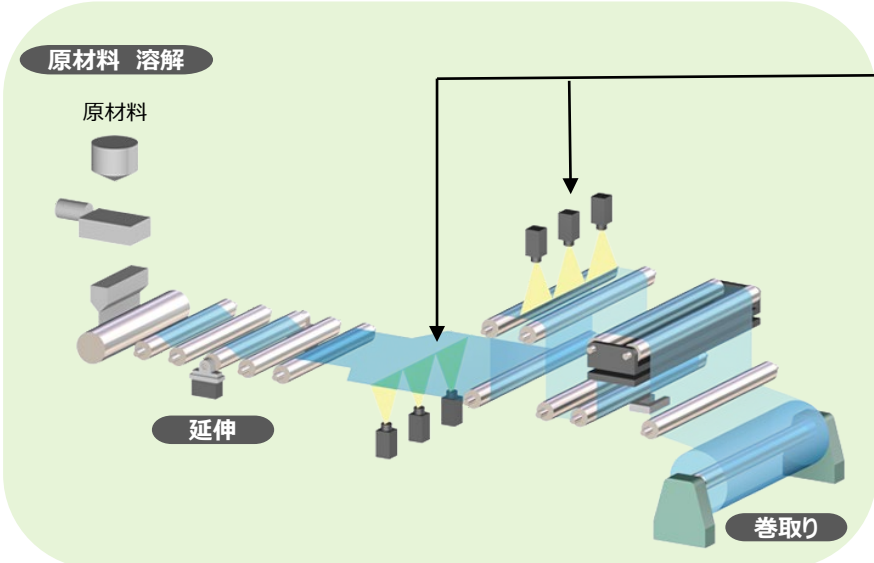
自動見当制御装置
グラビア印刷の縦横見当を自動制御します。



糊付け装置
様々な製品パターンに応じて糊付けを行います。

検査機事業

長年に渡り培ってきた画像処理技術をベースに、農産物から電子部材に至るまで幅広い製品の品質検査装置を扱う事業です。

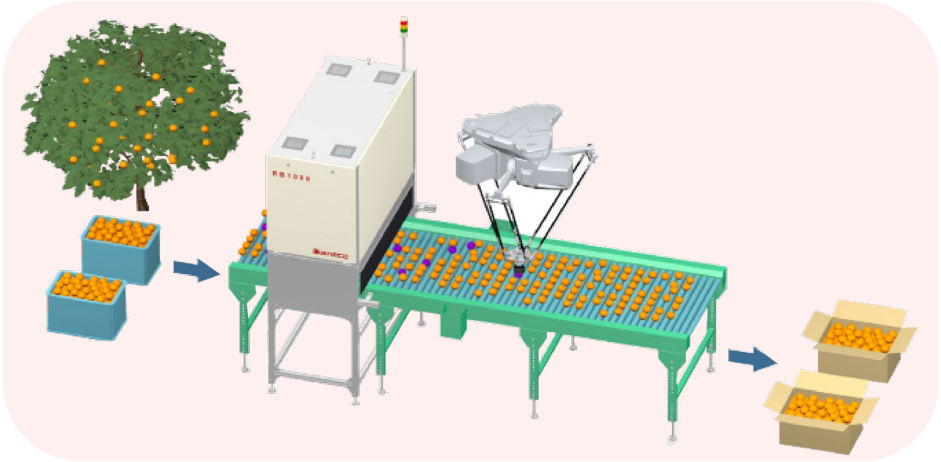


無地検査装置

あらゆる加工現場にて高速搬送されるフィルム、紙、金属といった無地素材の表面欠陥（キズ、汚れ、異物）等を検査します。

選果装置

農産物の品質を外観（キズ、腐敗、サイズ等）、あるいは内部品質（糖度、酸度）から瞬時に非破壊で判別します。



オプティクス事業

長年に渡り培ってきたレーザー関連製品やグループ会社の株式会社光学技研が取り扱う高度な技術を必要とする特殊な光学部品を扱う事業です。

➤ 主要用途：

- 半導体検査装置
- 光学機器
- 医療機器

光学部品



非線形光学結晶

半導体検査装置等で用いられる紫外光発生に適したCLBO素子を提供し、高い評価を受けています。

偏光子

特定の光を取り出すことのできる偏光子を、学術研究分野、光学機器分野、レーザー用途等、幅広く提供しています。



レーザー関連製品



深紫外ファイバーレーザー Cygnus

深紫外ファイバーレーザーを用いたマスク検査を実現します。定期的なメンテナンスは年1回と安定的な性能を有しています。

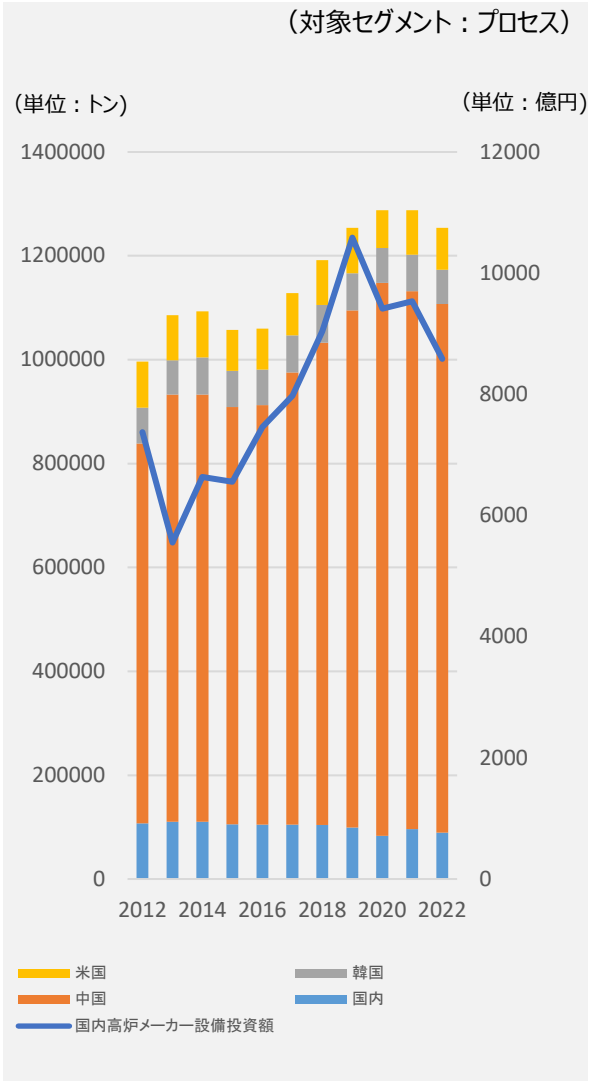


レーザー装置 HR-G10

高出力グリーンレーザーを用い、シリコンウエハへの加工、金属へのマーキング、樹脂内のマーキング、薄膜加工等、多用途に用いることが可能です。

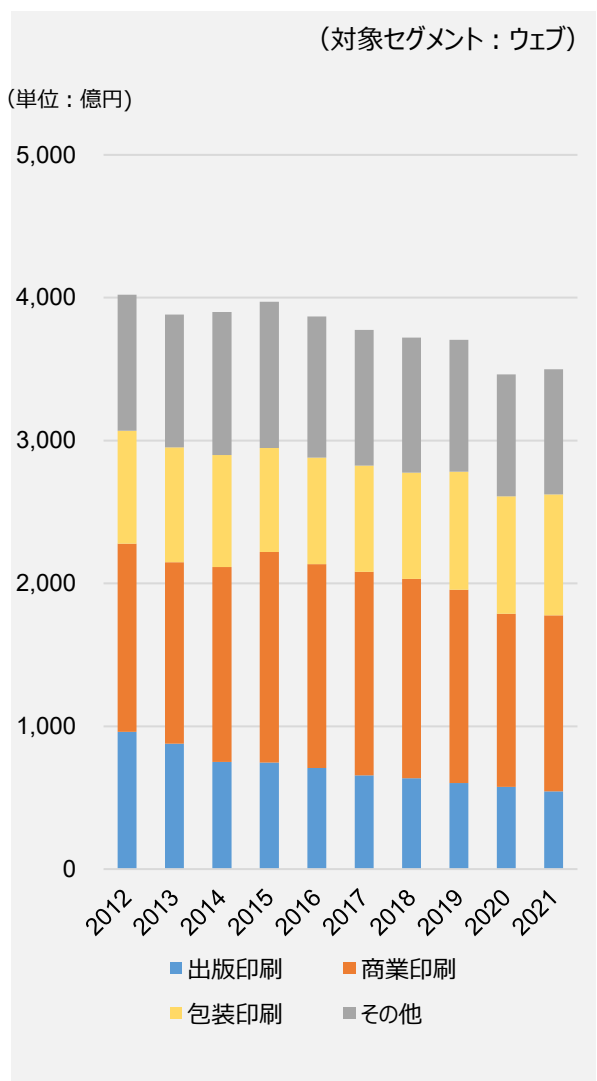
各事業市場動向

地域別粗鋼生産量及び 国内高炉大手設備投資額の推移



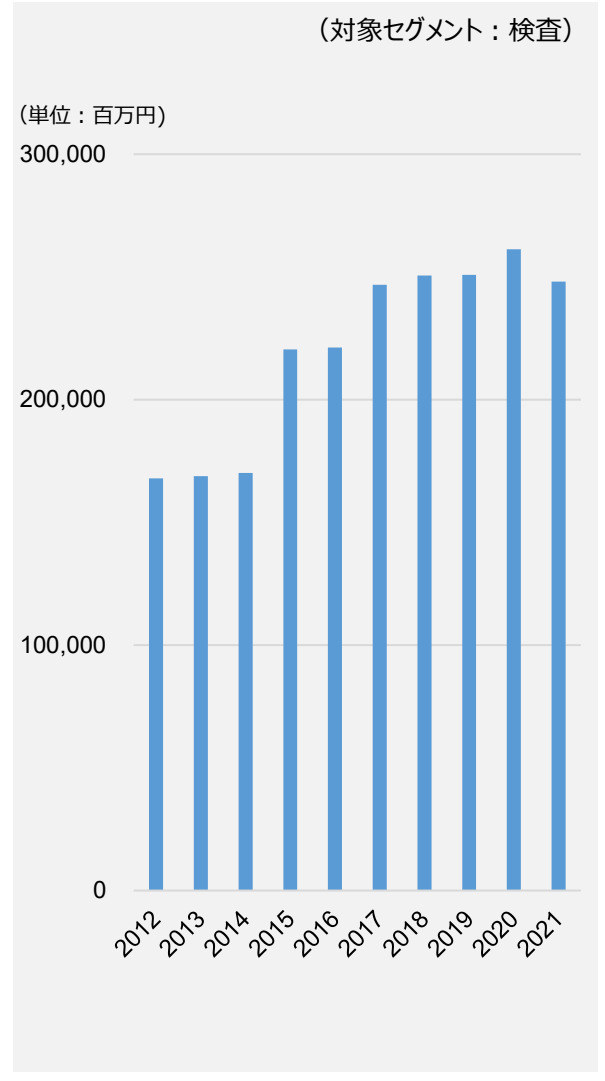
[出展：worldsteel]

印刷市場規模の推移



[出展：工業統計、生産動態統計より当社集計]

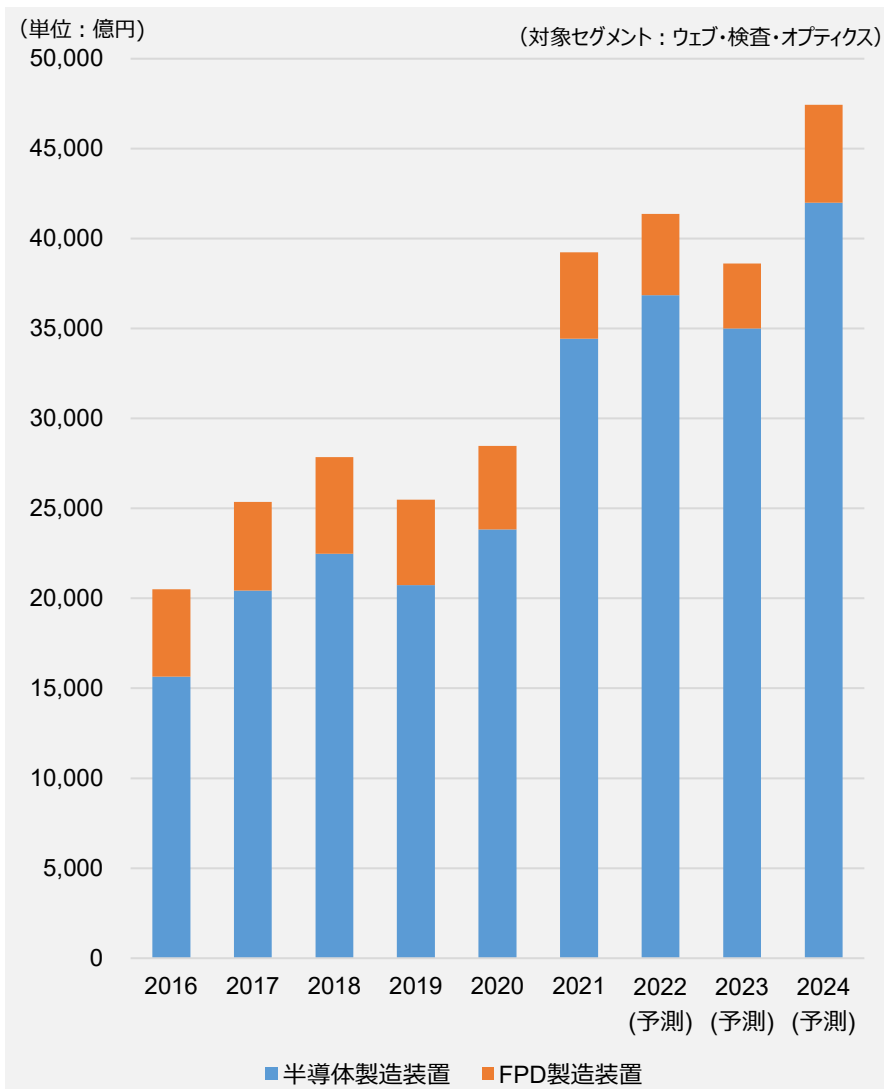
食品機械国内販売額の推移 (除、加工機械)



[出展：日本食品機械工業会資料]

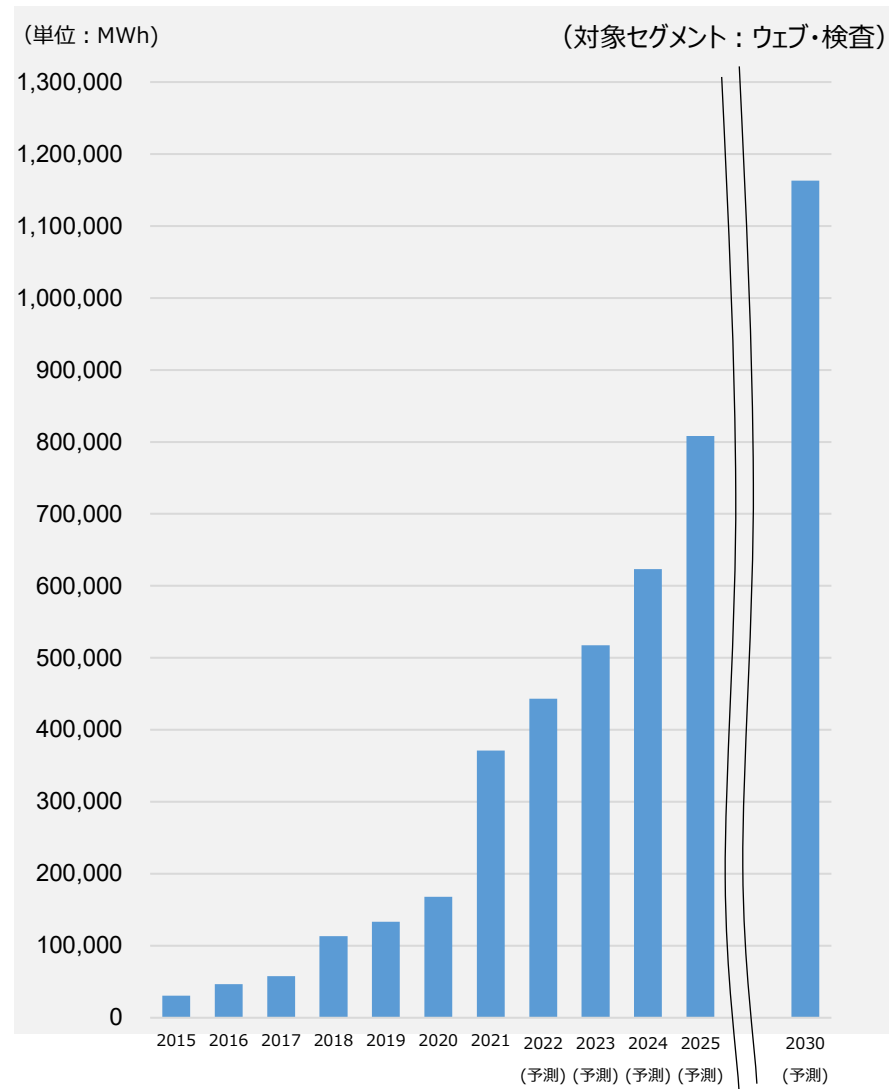
各事業市場動向

半導体・FPD製造装置需要予測



[出展：日本半導体製造装置協会]

車載用Lib世界市場予測



[出展：矢野経済研究所資料]

数値データ

(単位：百万円)

		21/3期	22/3期	23/3期
売上高	プロセス事業	2,584	2,216	2,411
	ウェブ事業	2,599	2,631	2,465
	検査機事業	1,365	1,356	1,797
	オプティクス事業	1,313	1,489	1,855
	その他	37	423	625
	売上高合計	7,899	8,117	9,155
セグメント損益	プロセス事業	412	313	460
	ウェブ事業	291	230	248
	検査機事業	-19	35	200
	オプティクス事業	399	401	740
	その他	-1	39	57
	調整額	-480	-456	-524
セグメント損益合計	600	563	1,182	

(単位：百万円)

		21/3期	22/3期	23/3期
受注高	プロセス事業	2,242	2,232	2,934
	ウェブ事業	2,620	3,387	2,669
	検査機事業	1,265	1,429	2,365
	オプティクス事業	1,280	1,888	1,725
	その他	39	642	612
	受注高合計	7,447	9,579	10,307
受注残高	プロセス事業	1,173	1,188	1,710
	ウェブ事業	580	1,336	1,540
	検査機事業	611	684	1,252
	オプティクス事業	544	944	814
	その他	4	223	211
	受注残高合計	2,914	4,376	5,529

NIRECO